

【様式編】

土砂災害時の 避難確保計画

【施設名：

】

年 月 日 作成

様式編 目 次

市町村に提出

1	計画の目的	1	} 様式 1
2	計画の報告	1	
3	計画の適用範囲	1	
	施設周辺の避難地図	2	別紙 1
4	防災体制	3	様式 2
5	情報収集・伝達	4	様式 3
6	避難誘導	5	様式 4
7	避難の確保を図るための施設の整備	6	} 様式 5
8	防災教育及び訓練の実施	6	

個人情報等を含むため適切に管理 ※市町村への提出は不要

9	防災教育及び訓練の年間計画作成例	7	様式 7
10	施設利用者緊急連絡先一覧表	8	様式 8
11	緊急連絡網	9	様式 9
12	外部機関等への緊急連絡先一覧表	9	様式 10
13	対応別避難誘導方法一覧表	10	様式 11
14	防災体制一覧表	11	様式 12

1 計画の目的

この計画は、土砂災害防止法第八条の二に基づき、〇〇施設近隣で土砂災害の発生または発生のおそれがある場合に対応すべき必要な事項を定め、施設利用者の土砂災害から円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

2 計画の報告

計画を作成及び必要に応じて見直し・修正をしたときは、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

3 計画の適用範囲

この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

【施設の状況】

人 数			
昼間・夜間		休日	
利用者	施設職員	利用者	施設職員
昼間 名	昼間 名	休日 名	休日 名
夜間 名	夜間 名		

【施設周辺の避難経路図】

土砂災害時の避難場所は、土砂災害ハザードマップから、以下の場所とする。

避難経路図

4 防災体制

連絡体制及び対策本部は、以下のとおり設置する。

【防災体制確立の判断時期及び役割分担】

体制確立の判断時期	体制	活動内容	対応要員
<p>大雨注意報発令</p> <p>土砂災害危険度情報で大雨注意報基準超過（黄色）になった時</p>	<p>注意体制確立</p>		
<p>大雨警報（土砂）が発令</p> <p>土砂災害危険度情報で（赤色）になった時</p> <p>高齢者等避難（大竹市防災メールからきます。）</p>	<p>警戒体制確立</p>		
<p>土砂災害警戒情報が発表</p> <p>土砂災害危険度情報で（薄紫）になった時</p> <p>避難指示の発令（エリアメールできます。）</p>	<p>非常体制確立</p>		

5 情報収集・伝達

(1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

収集する情報	収集方法
気象情報	気象庁ホームページ, テレビ・ラジオ, 大竹市防災メール
土砂災害情報	広島県防災WEB (土砂災害危険度情報), 大竹市防災メール, 緊急速報メール
高齢者等避難、避難指示	防災行政無線, 大竹市防災メール, 緊急速報メール, テレビ・ラジオ, 広報車

(2) 情報伝達

- ① 「施設内緊急連絡網」に基づき、体制の確立状況、気象情報、洪水予報等の情報を施設内関係者間で共有する。

6 避難誘導

避難誘導については、次のとおり行う。

(1) 避難場所

避難場所は下表のとおりとする。また、災害が切迫することにより、避難確保計画に定めた場所へ安全に避難できない場合は、斜面の反対側の高所の居室へ、緊急安全確保を図る。その場合を想定し、備蓄物資を用意するよう努める。

(2) 避難経路

避難場所までの避難経路については、「別紙 1 避難経路図」のとおりとする。

(3) 避難誘導

避難場所までの移動距離及び移動手段は、以下のとおりとする。

	名 称	移動距離	移動手段
避難場所			
屋内安全確保			

7 避難の確保を図るための施設の整備

情報収集・伝達及び避難誘導の際に使用する資器材等については、下表「避難確保資器材等一覧」に示すとおりである。

これらの資器材等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難確保資器材一覧

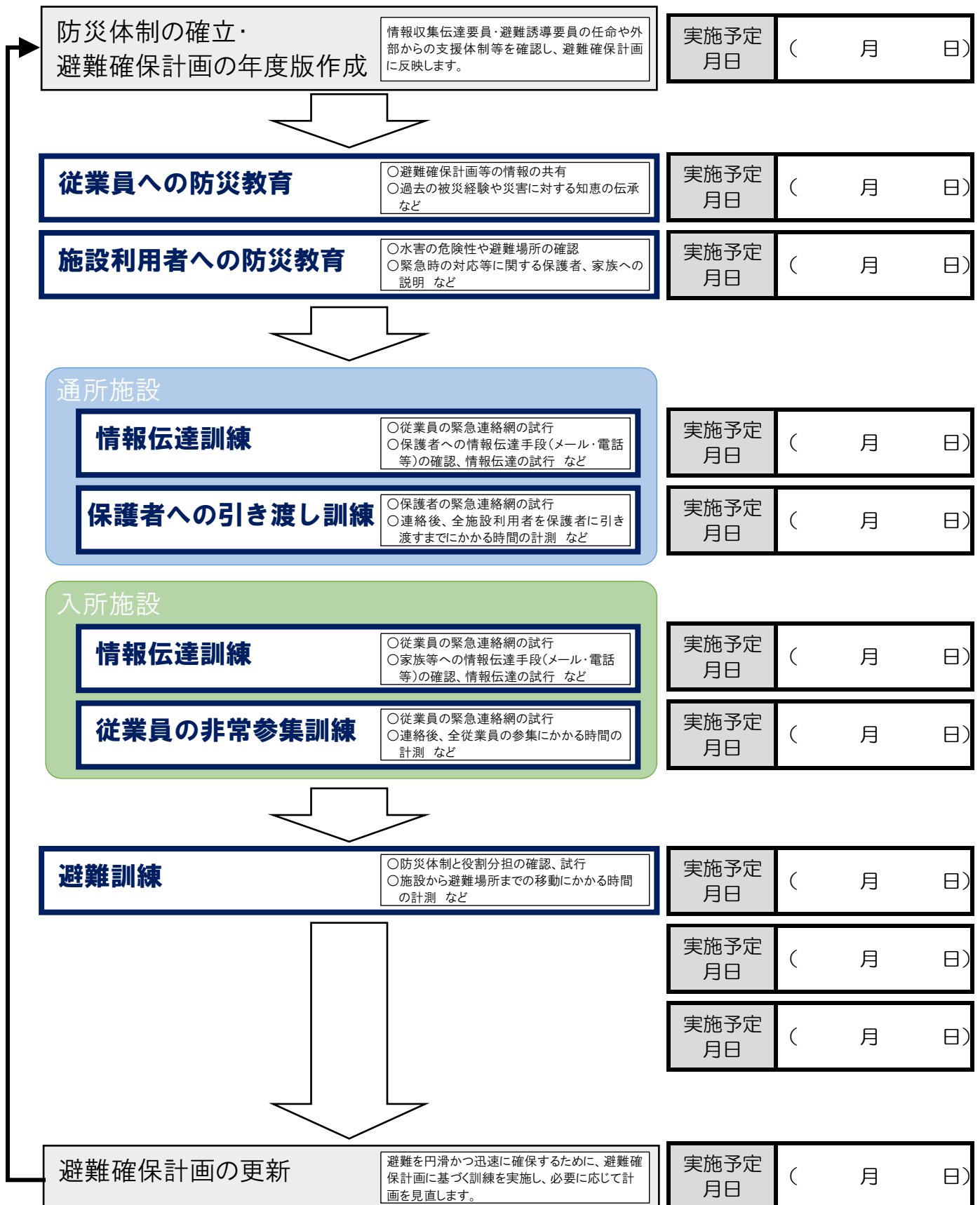
備蓄品	
情報収集 ・伝達	<input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> タブレット <input type="checkbox"/> ファックス <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話用バッテリー
避難誘導	<input type="checkbox"/> 名簿（従業員、施設利用者） <input type="checkbox"/> 案内旗 <input type="checkbox"/> タブレット <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯用拡声器 <input type="checkbox"/> 電池式照明器具 <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話用バッテリー <input type="checkbox"/> ライフジャケット <input type="checkbox"/> 蛍光塗料
施設内の 一時避難	<input type="checkbox"/> 水（1人あたり__ l ） <input type="checkbox"/> 食料（1人あたり__食分） <input type="checkbox"/> 寝具 <input type="checkbox"/> 防寒具
高齢者	<input type="checkbox"/> おむつ・おしりふき
障害者	<input type="checkbox"/> 常備薬
乳幼児	<input type="checkbox"/> おむつ・おしりふき <input type="checkbox"/> おやつ <input type="checkbox"/> おんぶひも
そのほか	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> （ ）

浸水を防ぐための対策
<input type="checkbox"/> 土嚢 <input type="checkbox"/> 止水板 <input type="checkbox"/> そのほか（ ）

8 防災教育及び訓練の実施（※現在実施されている訓練を記載）

- ・毎年〇月に新規採用の従業員を対象に研修を実施する。
- ・毎年〇月に全従業員を対象として、情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。
- ・その他、年間の教育及び訓練計画を毎年〇月に作成する。

9 防災教育及び訓練の年間計画作成例（※可能であれば作成してください。）



10 施設利用者緊急連絡先一覧表

様式 8

施設利用者			緊急連絡先				その他 (緊急搬送先等)
氏名	年齢	住所	氏名	続柄	電話番号	住所	

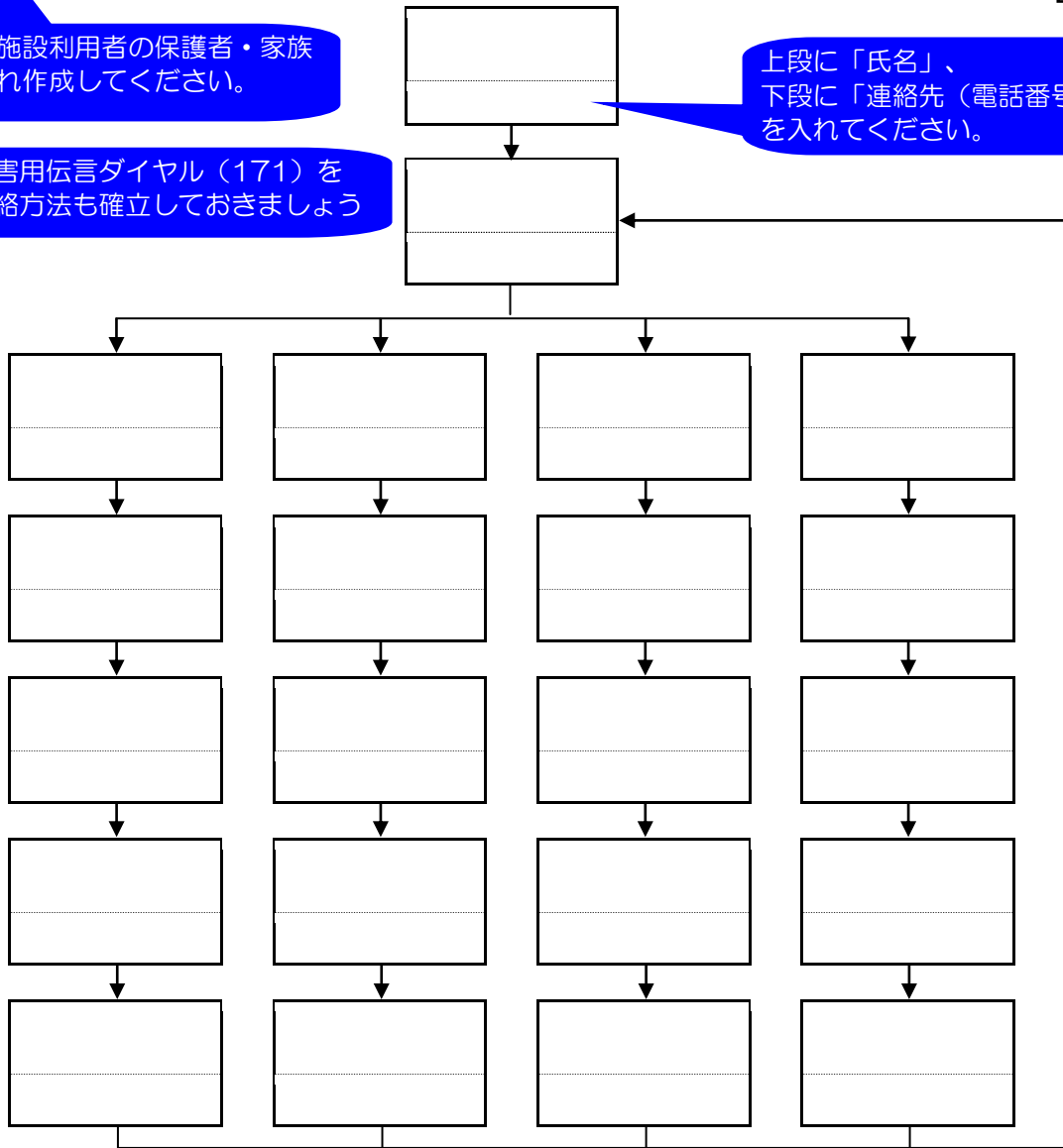
1 1 緊急連絡網

様式 9

従業員用と施設利用者の保護者・家族用をそれぞれ作成してください。

上段に「氏名」、
下段に「連絡先（電話番号）」
を入れてください。

メールや災害用伝言ダイヤル（171）を利用した連絡方法も確立しておきましょう



1 2 外部機関等への緊急連絡先一覧表

様式 10

連絡先	担当部署	担当者氏名	電話番号	連絡可能時間	備考
市町村（防災担当）					
市町村（福祉担当）					
消防署					
警察署					
避難誘導等の支援者					
医療機関					

1.3 対応別避難誘導方法一覧表

様式 11

対応内容	氏名	避難先	移動手段	担当者	備考

該当番号を記入

避難場所へ移動
 1.単独歩行が可能 2.介助が必要 3.車いすを使用 4.ストレッチャーや担架が必要 5.そのほか
そのほかの対応
 6.自宅に帰宅 7.病院に搬送 8.そのほか

管理権限者 () (代行者)

		担当者	役割
情報収集 伝達要員	班長 ()	班員 () 名 ・ ・ ・ ・	<input type="checkbox"/> 自衛水防活動の指揮統制、状況の把握、 情報内容の記録 <input type="checkbox"/> 館内放送等による避難の呼び掛け <input type="checkbox"/> 土砂災害等の情報の収集 <input type="checkbox"/> 関係者及び関係機関との連絡
避難誘導 要員	班長 ()	班員 ()	<input type="checkbox"/> 避難誘導の実施 <input type="checkbox"/> 未避難者、要救助者の確認